

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
関係法規・制度		2年間	30時間	1	必修	
担当教員	氏名	宇榮原 絵美	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 高等学校教員資格 取得 通信教育講師 琉美インターナショナルビューティカレッジ 関係法規講師 平成28年～					
学習目標	美容師国家試験取得を目指し、美容師に必要な関係法規・制度を理解し将来に役立つことも意図して学習する					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	第1章 法制度の概要	第1節 社会生活における法の役割	1	講義	
	2		第2節 法の実際	1	講義	
	3		第3節 衛生法規の概要	2	講義	
	4	第2章 衛生行政の概要	第1節 法と行政	1	講義	
	5		第2節 衛生行政の意義と歴史	1	講義	
	6		第3節 衛生行政の種類と衛生行政機関	1	講義	
	7	第3章 美容師法	第1節 美容師法の目的と構成	2	講義	
	8		第2節 用語の定義	2	講義	
	9		第3節 美容師	4	講義	
	10		第4節 美容所	4	講義	
	11		第5節 立入検査と環境衛生監視員	1	講義	
	12		第6節 違反者等に対する行政処分	2	講義	
	13		第7節 罰則	1	講義	
	14		第8節 参考事項	1	講義	
	15	第4章 関連法規	2	講義		
16		総合学習・試験対策	4	講義		
評価方法	各学期末毎に試験を行う。 ※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材	テキスト					

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
衛生管理		2年間	90時間	3	必修	
担当教員	氏名	和田 信明	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 美容室勤務32年 美容室オーナー経験 平成17年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	美容師国家資格取得を目指し、美容師として健康で快適な生活を守る公衆衛生、環境衛生と感染症の知識、技能、感染を防止する消毒の知識を学ぶ					
授業内容	項目				コマ数	形態
	1	公衆衛生	公衆衛生を学習する目的		1	講義
	2		1章 公衆衛生の概要		5	講義
	3		2章 予防医学と保健		8	講義
	4	環境衛生	環境衛生を学習する目的		1	講義
	5		1章 環境衛生		10	講義
	6		2章 美容所の環境衛生		3	講義
	7	感染症	感染症を学習する目的		1	講義
	8		1章 感染症の知識		18	講義
	9		2章 感染症の概要		10	講義
	10	衛生管理	衛生管理技術を学習する目的		1	講義
	11		1章 消毒法総論		7	講義
	12		2章 消毒法各論		8	講義
	13		3章 消毒法実習		13	講義
14	総合学習・試験対策		4	講義		
評価方法	各学期末毎に試験を行う。 ※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材	テキスト					

琉美インターナショナルビューティカレッジ						
美容本科昼間部 シラバス						
科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
保健		2年間	90時間	3	必修	
担当教員	氏名	和田 信明	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 美容室勤務32年 美容室オーナー経験平成17年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	美容師国家資格を目指し、美容師は頭や顔を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業の為、解剖学や生理学、皮膚学の知識を学ぶ					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	人体の構造及び機能	第1章 「美容保健」と美容師	5	講義	
	2		第2章 細胞と体液	4	講義	
	3		第3章 骨格器系	5	講義	
	4		第4章 筋系	5	講義	
	5		第5章 神経系	4	講義	
	6		第6章 感覚器系	3	講義	
	7		第7章 循環器系	5	講義	
	8		第8章 呼吸器系	4	講義	
	9		第9章 消化器系	7	講義	
	10		第10章 泌尿器系	2	講義	
	11		第11章 内分泌系	6	講義	
	12		第12章 環境と生体	2	講義	
	13	皮膚科学	第1章 皮膚の構造	6	講義	
	14		第2章 皮膚付属器官の構造	6	講義	
	15		第3章 皮膚の循環系と神経系	1	講義	
	16		第4章 皮膚の付属器官の生理機能	7	講義	
	17		第5章 皮膚と付属器官の保健	11	講義	
	18		第6章 皮膚と付属器官の疾患	13	講義	
19		総合学習・試験対策	24	講義		
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材	テキスト					

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
香粧品化学		2年間	60時間	2	必修	
担当教員	氏名	岩切 喜一郎	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 高等学校物理・化学教員勤務 平成22年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	美容師国家資格を目指し、美容師として美容室にある道具の力学等を学び、またパーマ液やカラー剤、化粧品の成分、働きを学ぶ					
授業内容	項目				コマ数	形態
	1	物 理	1章 力		7	講義
	2		2章 熱		5	講義
	3		3章 光		5	講義
	4		4章 電気		13	講義
	5	化 学	1章 物質の構造		5	講義
	6		2章 溶液とコロイド		3	講義
	7		3章 酸と塩基と塩		3	講義
	8		4章 酸化・還元反応		1	講義
	9		5章 有機化合物		4	講義
	10		6章 水		1	講義
	11		7章 金属		2	講義
	12		8章 燃焼と消化器		1	講義
	13	香 粧 品 化 学	1章 香粧品概論		3	講義
	14		2章 香粧品用原料		12	講義
	15		3章 基礎化粧品		7	講義
	16		4章 メイクアップ用香粧品		4	講義
	17		5章 頭皮・毛髪用香粧品		10	講義
	18		6章 その他の香粧品		3	講義
	19		7章 香粧品の取り扱い		1	講義
20	総合学習・試験対策					講義
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材	テキスト					

琉美インターナショナルビューティカレッジ							
美容本科昼間部 シラバス							
科目名			期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
美容技術理論			2年間	150時間	5	必修	
担当教員	氏名	福原 優子	実務経験	有	勤務形態	常勤	
	実務経験内容 美容室勤務14年 平成21年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社						
学習目標	美容師国家資格を目指し、技術者としての美容の基礎的な理論を学ぶ						
授業内容	項目					コマ数	形態
	1	序章 美容技術理論を学ぶにあたって				1	講義
	2	1章 美容用具				3	講義
	3	2章 シャンプーイング				8	講義
	4	3章 ヘアカットイング				10	講義
	5	4章 パーマネントウェーブ				10	講義
	6	5章 ヘアセッティング				10	講義
	7	6章 ヘアカラーリング				10	講義
	8	7章 エステティック				8	講義
	9	8章 ネイル技術				10	講義
	10	9章 メイクアップ				10	講義
	11	10章 日本髪				8	講義
	12	11章 着付の理論と技術				8	講義
	14	総合学習・試験対策				24	講義
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定						
教材	テキスト						

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
運営管理		2年間	30時間	1	必修	
担当教員	氏名	和田 信明	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 美容室勤務32年 美容室オーナー経験 平成17年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	美容師としてスタートするのに必要な知識から、働いていく上での知識、自分で店を持つための知識を学ぶ					
授業内容	項目				コマ数	形態
	1	第1編 接客	第1章 仕事をすること		1	講義
	2		第2章 接客の役割と基本		2	講義
	3		第3章 接客の計画・実践		2	講義
	4		第4章 接客の場で起こる問題		1	講義
	5	第2編 経営戦略・マーケティング	第1章 経営戦略		2	講義
	6		第2章 マーケティング		4	講義
	7	第3編 経営管理	第1章 経営者の視点		2	講義
	8		第2章 資金の管理		2	講義
	9	第4編 労務管理	第1章 労務管理とは何か		2	講義
	10		第2章 働くあなたの姿		2	講義
	11	第5編 健康管理	第1章 健康管理の意義		2	講義
	12		第2章 美容師に多い健康上の管理		2	講義
13	総合学習・試験対策		6	講義		
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材	テキスト					

琉美インターナショナルビューティカレッジ						
美容本科昼間部 シラバス						
科目名			期間	単位授業数	単位数	必修・選択
文化論			2年間	60時間	2	必修
担当教員	氏名	仲川 美佐子	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 美容室勤務27年 平成24年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	人の歴史から、理容・美容が関わってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要					
授業内容	項目				コマ数	形態
	1	第1章 総論	第1節 「理容」「美容」の語義		1	講義
	2		第2節 顔を考える		2	講義
	3		第3節 化粧の意味		2	講義
	4		第4節 文化的記号としての髪の毛		2	講義
	5	第2章 日本の美容業の歴史	第1節 美容業の発生		1	講義
	6		第2節 江戸時代の美容業		1	講義
	7		第3節 近代の美容業		2	講義
	8		第4節 現代の美容業		1	講義
	9	第3章 ファッション文化史・日本編	第1節 縄文・弥生・古墳時代		1	講義
	10		第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）		1	講義
	11		第3節 中世（平安時代中期以降・鎌倉・室町時代）		1	講義
	12		第4節 近世前期（戦国・安土桃山・江戸時代前期）		1	講義
	13		第5節 近世後期（江戸時代中・後期）		2	講義
	14		第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）		2	講義
	15		第7節 現代Ⅰ（1945年～50年）		1	講義
	16		第8節 現代Ⅱ（1960年～70年）		1	講義
	17		第9節 現代Ⅲ（1980年代以降）		1	講義
	18	第4章 ファッション文化史・西洋編	第1節 古代エジプト		1	講義
	19		第2節 古代ギリシャ・ローマ		1	講義
	20		第3節 古代ゲルマン		1	講義
	21		第4節 中世ヨーロッパ		1	講義
	22		第5節 近世Ⅰ（16世紀）		1	講義
	23		第6節 近世Ⅱ（17世紀）		1	講義
	24		第7節 近世Ⅲ（18世紀）		1	講義
	25		第8節 近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）		1	講義
	26		第9節 近代Ⅱ（19世紀）		1	講義
	27		第10節 現代Ⅰ（1910年～1920年）		1	講義
	28		第11節 現代Ⅱ（1930年代）		1	講義
	29		第12節 現代Ⅲ（1940年～1950年代）		1	講義
	30		第13節 現代Ⅳ（1960年代）		1	講義
	31		第14節 現代Ⅴ（1970年代）		1	講義
	32		第15節 現代Ⅵ（1980年代）		1	講義
	33		第16節 現代Ⅶ（1990年代）		1	講義
	34	第5章	第1節 和装の礼装		1	講義
	35		第2節 洋装の礼装		1	講義
	36	第6章	第1節 ファッションとは		1	講義
	37		第2節 トータルファッションの造形原理		3	講義
	38		第3節 色彩のコーディネート		5	講義
39	総合学習・試験対策				10	講義
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材						

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
美容実習		2年間	900時間	30	必修	
担当教員	氏名	齊藤 俊二	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 美容室勤務14年 令和3年4月 学校法人 琉美学園 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	美容師国家試験合格するための学習 美容師としての基礎の技術の習得					
授業内容	項目		コマ数	形態		
	1	ワインディング	200	講義・実習		
	2	オールウエーブセッティング	150	講義・実習		
	3	シャンプー・ブロードライ	80	講義・実習		
	4	カッティング	20	講義・実習		
	5	ヘアカラー	20	講義・実習		
	6	パーマ	8	講義・実習		
	7	ローラー	8	講義・実習		
	8	アップスタイル	12	講義・実習		
	9	新日本髪	16	講義・実習		
	10	着付け	16	講義・実習		
	11	国家試験課題	250	講義・実習		
	12	ブライダル	60	講義・実習		
	13	まつ毛エクステンション	30	講義・実習		
14	校内サロン実習	30	講義・実習			
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材						



琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
フォト		2年間			選択	
担当教員	氏名	白岩 直明	実務経験	有	勤務形態	常勤
	実務経験内容 写真スタジオ勤務8年 他専門学校勤務15年 個人スタジオ営業 平成22年 琉美インターナショナルビューティカレッジ					
学習目標	写真の基本を作品作りを通して学ぶ。 自分のイメージ通りの写真を仕上げられるようになる。 ヘア・メイクを思い通りに写真に記録できるようになる。					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	フレーミング・アングル研究		1	講義	
	2	光を知る（ライティングについて）		1	講義・実習	
	3	自然光を生かす		2	講義・実習	
	4	自由ポートレート撮影①		2	講義・実習	
	5	自由ポートレート撮影②		2	講義・実習	
	6	スタジオ撮影①		2	講義・実習	
	7	スタジオ撮影②		2	講義・実習	
	8	ハンディストロボの活用		1	講義・実習	
	9	自由スタジオor野外撮影①		2	講義・実習	
	10	自由スタジオor野外撮影②		2	講義・実習	
	11	まとめ/合評会		3	講義・実習	
評価方法	※各項目の課題をもとに評価。 ※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材	オリジナルテキストと講師撮影作品。					

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
色彩		2年間			選択	
担当教員	氏名	渡名喜 早苗	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 印刷業業界30年勤務 令和元年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	美容師にとって色彩に関する知識と感覚は最も大切な要素色彩の基本的な理論を学ぶことによって、色彩表現の基礎を養います					
授業内容	項目				コマ数	形態
	1	第1章 色彩と文化			5	講義
	2	第2章 色彩理論			10	講義
	3	第3章 色彩とファッション			5	講義
	4	第4章 パーソナルカラー			5	講義
	5	総合学習・試験対策			5	講義
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材	テキスト カラーカード					

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
デッサン		2年間			選択	
担当教員	氏名	保志門 るり江	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 デザイン会社10年勤務 平成17年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	美容師に必要な見る力や観察する力を養う					
授業内容	項目		コマ数	形態		
	1	顔のプロポーション	2	講義・実習		
	2	顔の部分練習	2	講義・実習		
	3	顔の描き方	2	講義・実習		
	4	ヘアの描き方	2	講義・実習		
	5	基礎プロポーション	2	講義・実習		
	6	手の描き方	2	講義・実習		
	7	人物画	4	講義・実習		
	8	大会代表選出会に向けたデッサン	12	講義・実習		
	9	講評会	2	講義		
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材	スケッチブック 鉛筆・消しゴム					

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
接客マナー		2年間	30時間	1	選択	
担当教員	氏名	中山 智子	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 ホテル、外資企業、銀行等で30年勤務 平成27年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	ビジネスマナーを身に付け、接客業の基本となる動作を行えるようにする					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	挨拶		3	講義・実習	
	2	身だしなみ		3	講義・実習	
	3	表情（笑顔）		3	講義・実習	
	4	基本動作（態度）		3	講義・実習	
	5	言葉遣い		3	講義・実習	
	6	電話対応の基本		5	講義・実習	
	7	ロールプレイング		10	講義・実習	
				講義・実習		
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 （評価）A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材						

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
アロマ		2年間	20時間	1	選択	
担当教員	氏名	當眞 ふさえ	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 アロマショップ経営者 講習など開催を行っている。 平成26年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	精油（エッセンシャルオイル）を使って、健康や美容に役立てることを学ぶ					
授業内容	項目		コマ数	形態		
	1	アロマセラピーとは、精油とは	1	講義・実習		
	2	精油製造方法	1	講義・実習		
	3	精油が心身に作用する経路	1	講義・実習		
	4	精油のプロフィール	2	講義・実習		
	5	アロマセラピーの歴史	3	講義・実習		
	6	精油成分の薬理作用、精油のプロフィール	1	講義・実習		
	7	精油成分によるマイナス作用、精油のプロフィール	1	講義・実習		
	8	アロマセラピーのメカニズム	2	講義・実習		
	9	アロマセラピーでホームケア	1	講義・実習		
	10	アロマセラピーハンドトリートメント	1	講義・実習		
	11	アロマセラピー利用法	2	講義・実習		
	12	アロマセラピーと健康学	2	講義・実習		
	13	アロマセラピーに関する法律	1	講義・実習		
14	アロマセラピーと環境	1	講義・実習			
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 （評価）A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材	テキスト 精油等					

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
メイク		2年間	30時間	1	選択	
担当教員	氏名	齊藤 俊二	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 美容室勤務14年 令和3年4月 学校法人 琉美学園 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	メイクの基礎を学ぶ					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	スキンケア		2	講義・実習	
	2	ベースメイクアップ		2	講義・実習	
	3	アイメイクアップ		2	講義・実習	
	4	アイブロウメイクアップ		2	講義・実習	
	5	リップメイクアップ		2	講義・実習	
	6	ブラッシュオンメイクアップ		2	講義・実習	
	7	相モデル		12	講義・実習	
	8	検定対策		6	講義・実習	
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A:優 B:良 C:可 N:認定					
教材	メイク教材					

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
ネイル		2年間	40時間	1	選択	
担当教員	氏名	福原 優子	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 美容室勤務14年 平成21年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社					
学習目標	ネイルの基礎を学ぶ					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	ネイルケア		10	講義・実習	
	2	ネイルアート		16	講義・実習	
	8	検定対策		14	講義・実習	
評価方法	※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。 ※追試は最高得点60点とする。 (評価) A：優 B：良 C：可 N：認定					
教材						

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択
まつ毛エクステンション		2年間	30時間	1	必修
担当教員	氏名	仲川 美佐子	実務経験	有	勤務形態
	実務経験内容 美容室勤務27年 平成24年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 入社				
学習目標	人の歴史から、理容・美容が関わってきたことを学ぶことは、今を知るためにと				

	項目		コマ数	
	授業内容	1	第1章	第1節 備品
2		第2節 道具		
3		第3節 用剤		
4		第4節 材料		
5		第2章	第1節 病原微生物	
6			第2節 消毒	
7			第3節 芽胞	
8			第4節 滅菌	
9			第5節 消毒法の種類	
10			第6節 消毒の手順	
11			第7節 施術前の手指消毒	
12			第8節 器具類の消毒方法	
13		第3章	第1節 眼に関する知識	
14			第2節 皮膚に関する知識	
15			第3節 まつ毛に関する知識	
16		第4章	第1節 はじめに	
17			第2節 カウンセリングの留意点	
18			第3節 その他	
19		第5章	第1節 まつ毛エクステンションにおける注意	
20			第2節 エクステンションの装着の前に	
21			第3節 エクステンションの装着	



	22	目 章	第4節 装着したエクステンションのリムービング	
	23		第5節 まつ毛エクステンションのトレーニング	
	24		第6節 まつ毛エクステンションのデザイン	
評 価 方 法	<p>※成績の評価は100点満点とし、60点未満は不合格とする。</p> <p>※追試は最高得点60点とする。</p> <p>(評価) A：優 B：良 C：可 N：認定</p>			
教 材				





琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
選択メイク		2年間	40時間		選択	
担当教員	氏名	池村 裕子	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 美容室勤務10年 モデル事務所メイク担当として10年勤務 平成21年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	特殊メイクや、撮影時のメイクなどを学ぶ 現場専門家による最新情報や現場力を身につける					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	デッサン		1	講義	
	2	立体肌メイク		3	講義・実習	
	3	ポイントメイク		2	講義・実習	
	4	日本化粧		2	講義・実習	
	5	コーンロウ		2	講義・実習	
	6	ユーカリフォトコン		16	講義・実習	
	7	老人メイク		2	講義・実習	
	8	若みえメイク		2	講義・実習	
	9	男の子プロデュース		2	講義・実習	
	10	傷メイク		2	講義・実習	
11	ハロウィンメイク		6	講義・実習		
評価方法	授業態度、実習進捗度によるA・B・Cの3段階評価					
教材						

琉美インターナショナルビューティカレッジ

美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
選択ネイル		2年間	44時間		選択	
担当教員	氏名	新垣 加代子	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 ネイルサロンオーナー 平成29年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	ネイル技術の応用 サロンワークに沿った内容で現場力を学ぶ					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	サロンワークにおけるネイルの技術体系の説明		1	講義	
	2	基本のカットスタイルの実技		1	講義・実習	
	3	イクステンションスカルプチュア①		2	講義・実習	
	4	イクステンションスカルプチュア②		4	講義・実習	
	5	スカルプチュア		2	講義・実習	
	6	チップ&オーバーレイ		2	講義・実習	
	7	チップ&ラップ①		2	講義・実習	
	8	チップ&ラップ②		2	講義・実習	
	9	ポリッシュdeアート①		2	講義・実習	
	10	ポリッシュdeアート②		2	講義・実習	
	11	エンボスアート①		2	講義・実習	
	12	エンボスアート②		2	講義・実習	
	13	ジェルネイル検定対策①		12	講義・実習	
	14	ジェルネイルアート		4	講義・実習	
	15	ジェルネイル検定対策②		4	講義・実習	
評価方法	授業態度、実習進捗度によるA・B・Cの3段階評価					
教材						

琉美インターナショナルビューティカレッジ  
美容本科昼間部 シラバス

科目名		期間	単位授業数	単位数	必修・選択	
選択カット		2年間	40時間		選択	
担当教員	氏名	許田 猛博	実務経験	有	勤務形態	非常勤
	実務経験内容 美容室勤務20年 美容室オーナー 平成30年 琉美インターナショナルビューティカレッジ 非常勤講師					
学習目標	カットスタイルの応用 サロンでのスタイルを学ぶ					
授業内容	項目			コマ数	形態	
	1	カット基礎		1	講義	
	2	ワンレングス		1	講義・実習	
	3	セイムレングス		1	講義・実習	
	4	レイヤー		1	講義・実習	
	5	グラデーション		2	講義・実習	
	6	ショートスタイル		2	講義・実習	
	7	国試カット		14	講義・実習	
	8	ユーカリフォトコン		12	講義・実習	
	9	ヘアカラー（相モデル）		6	講義・実習	
評価方法	授業態度、実習進捗度によるA・B・Cの3段階評価					
教材						